

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(3/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
森里海連環高津川流域ふるさと構想特区 (島根県益田地区広域市町村圏事務組合)	4.1	4.3 進捗度 ・路網整備と計画的施業の推進 91%  ・地域資源を活用した農村定住 ・交流促進 117%  ・高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖 132%	4.0 規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業  ・特定農業者による特定酒類の製造事業等  地域独自の取組 ・林地残材搬出に伴う自伐林家等支援事業  ・森林資源活用事業等	4.0	<p>・自然資源(清流)を核に据えた地域活性化戦略はインパクトが大きく、成功が期待される。森林管理、水質浄化、漁業資源の増加という3つの連関を強化することができればベストだが、地域活性化に軸足を移すことで近年は実績をあげてきた点は評価することができる。</p> <p>・「地域限定特例通訳案内士の活動回数」は、大きく目標値を上回っている。インバウンドを含む観光客が順調に増え、地域限定特例通訳案内士の活動が成果を挙げている様子が窺える。今後一層の展開が期待され、目標値の上方修正の検討が必要であろう。</p> <p>・交流に関する指標が望ましい傾向にあり、それを活かした新規就農者の増加や定住人口の増加が期待される。新規就農人数は目標に達していないが、自営就農を中心に着実に増加していることは高く評価される。</p> <p>・今後は自然資源を活用した観光振興を考えてもよいかもしれない。</p> <p>・「森」「里」「川」へのそれぞれの取組は、昨年よりもずっと改善された印象をもつ。今後もバランス良く発展していくことを期待したい。</p>